

ふなだた



No.181
2年/1

発行：山形県舟形町議会
令和2年1月24日



表紙のことは
19Pにあります。

将来に残したい伝統行事「おさいど」(写真提供者/内山：山崎和男さん)

年頭のあいさつ	2 P
12月定例会概要・質疑応答	3 P
<新ページ>議案の採決状況	5 P
町政を問う 一般質問に6議員	6 P
第12回議会報告会を開催しました.....	13 P
議会報モニターアンケートより	15 P
議会活動	17 P
えがったなあ・町民の声・編集後記	20 P



雪が舞う中での分列行進(消防安全祈願祭出初式)

令和元年度 主な補正予算

- 公共土木施設災害復旧事業・・・3482万円
(台風19号災害復旧事業 町道3箇所(内山・太折・西又))
- 農業用施設災害復旧事業・・・1144万円
(台風19号災害復旧事業 農地2箇所、農業用施設1箇所)
- 農業経営高度化支援事業・・・5000万円
(小松原田地区ほ場整備事業に係る高度経営体集積促進事業補助金)
- 農業振興事業・・・192万円
(産地パワーアップ事業費補助金)
- 児童福祉総務事業・・・138万円
(広域入所負担金及びほほえみファミリーサポート給付金)
- 交通安全対策事業・・・100万円
(高齢者先進安全自動車購入費補助金)
- 消防施設事業・・・91万円
(新分譲地区へ消火栓1基新設)

主な審議された議案

12月定例会

- 令和元年度一般会計補正予算 他5件
- 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の設定
- 町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
- 町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正
- 町監査委員の選任
- 町固定資産評価審査委員会委員の選任
- 町選挙管理委員会委員及び町選挙管理委員会補充員の選挙

12月定例会
3日～6日

台風19号災害復旧事業

4626万円

12月定例会は、3日から6日までの会期で開催され、6名の一般質問に続き、一般会計補正予算など、全議案を原案通り賛成多数で可決しました。



「年頭によせて」

町議会議長 八 欽 太

明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年中は、皆様のご指導、ご協力により、円滑な議会運営ができましたことに心より御礼申し上げます。

顧みますと、5月からは「令和」の元号となり、新しい時代が始まりました。議会議員も4月に選挙がありました。24年ぶりとされる無投票で、新しい10名の議員が誕生しました。この結果を真摯に受け止め、「選良」という名に恥じないよう努めてまいります。

一方、「議員のなり手確保」についても、議員の位置づけの明確化や選挙公営の拡大など、立候補の環境整備に取り組んでまいります。今年度は、舟形町の第7次となる「総合発展計画」策定の年であり、節目の年と言えます。

少子高齢化、人口減少社会と言われる中ではありますが、将来にわたり活力ある舟形町を維持していくため、生活の安心、安全や産業の振興、福祉対策の充実、これらに伴い安定した雇用の創出、人材の交流や若い世代が希望の持てる施策の展開が図られますよう、議員一同、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町民の皆様の御健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新春のご挨拶といたします。

本年もどうぞ



よろしくお願ひします

～ 新年の抱負 ～

- | | | |
|------|-------|--------|
| 議長 | 八 欽 太 | (積土成山) |
| 副議長 | 斎藤 好彦 | (万里一空) |
| 議員 | 叶内 富夫 | (温故知新) |
| 議員 | 佐藤 広幸 | (安寧秩序) |
| 議員 | 奥山 謙三 | (感恩報謝) |
| 議員 | 石山 和春 | (一意専心) |
| 議員 | 小国 浩文 | (有言実行) |
| 議員 | 伊藤 欽一 | (一言芳恩) |
| 議員 | 荒澤 広光 | (誠心誠意) |
| 議員 | 叶内 昌樹 | (一念發起) |
| 事務局長 | 相馬 昇 | (雲外蒼天) |
| 事務局 | 伊藤 優 | (初志貫徹) |

※四字熟語の意味は次回号に掲載します。

各議員の採決状況を見える化！

Table with columns for bill number, title, and voting status for 10 council members (1-10). Rows include various budget and administrative bills.

* 議長は採決に加わりません。

◆令和元年第4回定例会 会期及び審議内容

※本会議前、議会運営委員会及び全員協議会を実施

Table showing meeting dates (12/3, 12/4, 12/5, 12/6), session types, and agenda items.

質 疑 応 答

12月定例会

令和元年度一般会計補正予算

議員 県内初の高齢者先進安全自動車補助金、昨年は36台の実績だったが、今年度の状況は。

住民税務課長 今年度は現時点で新車購入分が33台、後付けでの対応分1台で、合計34台という状況です。

Advanced safety equipment advertisement for car purchase. Includes text: '先進安全装置を後付けて購入・設置する費用も補助対象に！' and a list of equipment types.

好評な安全サポカー補助金 (詳細は広報ふながたお知らせ版令和元年10月11日号に掲載)

議員 光ファイバー網管理事業費の委託料200万円増額の内容は。

総務課長 光ファイバーケーブルについては、東北電力の電柱に取り付けており、今回、県道舟形大蔵線の道路整備により電柱の移設が新たに発生したため、増額になっています。

議員 林業振興費の新規狩猟免許補助金の内容は。

農業振興課長 上限5万円で、3名の方が新規で狩猟免許取得の申請をする予定です。

議員 飼養犬原簿管理システム更新負担金2万円の内容は。

健康福祉課長 畜犬登録の台帳管理を各市町村が県獣医師会に委託しているもので、システム更新の負担金です。

議員 台風19号災害復旧事業で、農業用施設災害復旧事業1144万円、公共土木施設災害復旧事業3482万円で全てなのか。今後も増えてくるのか。

災害復旧対策室長 台風19号での被害確認箇所はこれで全てです。今後増えることはないと考えています。

令和元年度農業集落排水事業特別会計補正予算

議員 農業集落排水事業施設管理事業修繕料19万7千円の内容は。

地域整備課長 富田水センター・長沢処理場及び長沢橋のポンプ等の修繕となります。

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の設定

議員 会計年度任用職員(臨時職員)に該当する職員数は。また、増加する費用はどの程度か。

総務課長 対象となる臨時職員は49名います。来年度から期末手当が支給されることとなりますので、1年間で約1400万円程度増加する見込みです。

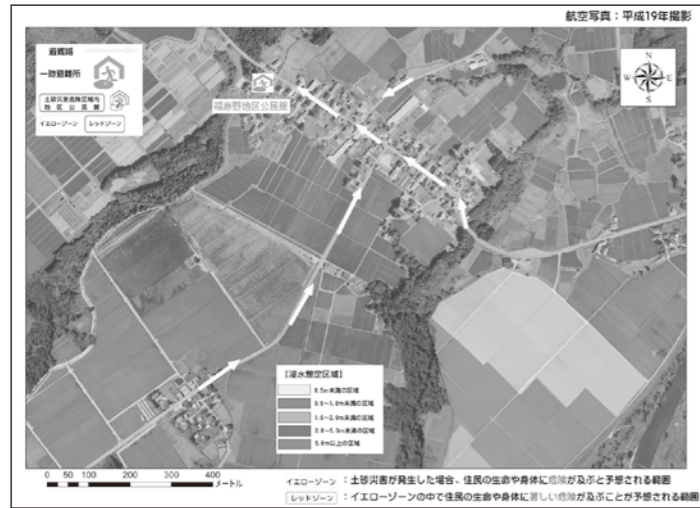


修繕される長沢処理場の自動荒目スクリーン



奥山 謙三 議員

現行基準に合わせた洪水マップ公表は行なったのか 令和2年度中に作成し、速やかに周知に努める



旧基準のハザードマップ（福寿野）

質問 水防法の旧基準の最大雨量は「数十年から100年に一度レベル」でしたが、2015年の改正で「千年に一度レベル」の雨量想定になりました。山形県では、マップ作成が義務付けられた35市町村の内、現行基準で改定済みなのは平成31年3月末時点では16市町村となっています。早期整備と周知について、町長の考えを伺います。

町長 現行基準に合わせた洪水マップは、県が平成30年度中に想定最大規模の洪水浸水想定区域図の作成に取り掛かるとの情報により、この結果を待ち、既に示されていた国交省分と合わせて一体として防災マップを検証し、必要な見直しを行うこととしていました。先般11月8日付で、県より最上小国川の洪水浸水想定区域の指定の通知があったので、町としては浸

水想定区域を詳細に確認し、洪水浸水、土砂災害、ため池ハザードマップを組み合わせたハザードマップの作成に早急に取り組んでいきます。完成後は、町ホームページでの公表や各地区公民館への配布はもちろんのこと、全世帯への配布も検討するなど、現行基準に合わせたハザードマップの周知に努めます。



定住人口の増加が期待される民間アパート（舟形第3）

町長 令和2年度中に作成し、町ホームページでの公表と全世帯に配布するようにしたいと考えています。

質問 現行基準のハザードマップの作成のタイムスケジュールと、周知についてどうするのか。

質問 本事業の目的は、民間資金を活用した賃貸入居開始は、令和2年3月を予定

共同住宅の整備を促進し、若い勤労者世帯の生活安定及び、定住人口の確保と増加を図るため、賃貸共同住宅を新築した者に対して支援するとなっています。今般、具体的に本事業が進んでいるようですが、その内容について質問します。

申請があります。具体的には新庄市の建設業者で、アパート建築場所は舟形第三町内です。建築規模は2棟4世帯入居で、完成予定日は令和2年2月29日です。入居開始予定日は令和2年3月を予定しています。

町としては、定住人口の増加につながればと期待しています。

町政を問う

一般質問に6人が登壇

一般質問とは

定例会において、各議員が町民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する、議員の重要な活動です。（本会議での持ち時間は一人40分）

奥山 謙三 議員

7ページ

- 1 現行基準に合わせた洪水マップ公表は行なったのか
- 2 民間賃貸住宅等建設支援事業の進捗状況を問う

斎藤 好彦 議員

10ページ

- 1 地区防災計画の推進を
- 2 森林経営管理制度の活用策は

荒澤 広光 議員

8ページ

- 1 最上川増水時の排水対応、今後見直しが必要では
- 2 舟形町避難施設見直しが急務では

叶内 昌樹 議員

11ページ

- 1 除雪対応策について
- 2 スポーツ振興と管理施設について

石山 和春 議員

9ページ

- 1 防災拠点施設の必要性は

伊藤 欽一 議員

12ページ

- 1 舟形中学校移転の結論は
- 2 最上小国川かわまちづくりプラン現状は

※発行済みの議会だより（令和元年10月号8ページ）について間違いがありました。訂正しておわび申し上げます。

斎藤好彦議員の一般質問について、平成30年豪雨災害の復旧状況は のタイトルが未掲載になりました。
小国浩文議員の一般質問について、ふるさと納税対策は のタイトルが未掲載になりました。

<一般質問 掲載要綱>
●議会だより一般質問本文への掲載件数は、2件以内で、3件目はタイトルのみ掲載する。
●本文の字数は、質問330字以内、答弁は550字以内とする。



石山 和春 議員

防災拠点の必要性は

災害対策本部が支障を来さないよう整備する



震災後整備された石巻市防災センター

質問 今年も東日本を中心に甚大な被害をもたらした台風19号では、防災対策についての課題を多く残し、報道でも多くの課題が提起されています。避難を誘導する際の防災放送の在り方や、避難所の受け入れなど、様々な観点から地域住民の命を守るために、行政支援としてどのような役割を果たすのか等です。防災対策を講じる本部の在り方や拠点機能を果たすため

町長 昭和40年代に特殊堤防が建設されてからは大きな被害がありませんが、水門を閉鎖するため、消防団による内水の排水作業が必要となつています。恒久的な排水ポンプ設備の設置は、新庄河川事務所に要望したところ、

の環境について、町長の考えを伺います。昨年の豪雨災害での役場庁舎地下ピロティへの浸水で、電源設備はもちろん、公用車も被害を受け、防災拠点施設としての機能を失った状態となりました。そうした状況を鑑みると、新たな場所を確保する必要がありますがあると感じざるを得ません。町で計画している防災拠点施設について、町長の考えを伺います。

町長 昨年8月の豪雨災害時、災害対策本部を設置していた役場庁舎の地下ピロティが浸水し、一時電源を喪失し、災对本部の活動に、短時間ではありましたが支障を来すという事態が発生しました。この反省を踏まえ、平成26年度に取得した用地に、当初の計画通り防災拠点施設を整備することとしたものです。財源には国の都市防災総合推進事業を活用することし、計画承認を受けているところです。事業期間は令和元年度から2か年で、今年度は用地造成と実施設計、来年度は施設建設を予定しています。整備にあたっては、昨年8月の災害での経験を最大限活かすこととしています。まずは、なんといっても役場庁舎の電源を喪失したことです。大型発電機を用意しましたが、電源復旧まで数時間を要し、防災無線による情報伝達や電話による情報収集に支障を来しました。施設

品有無の確認が必要と考えます。現在の広域避難所についても、乳幼児、お年寄り、障がいを持つ方が数日間生活できるかが心配です。今年度より、特に配慮が必要な方々が確実に避難できる福祉避難所建設に向けて用地造成などを進めています。施設の建設及び利活用の計画について伺います。



石巻市防災センター内のシミュレーション室（災害対策本部）

電源の確保の重要性を再認識しております。県防災ネットワークシステムも散在しており、関係者が一堂に会して会議するスペースも不足する状況にあります。新たに整備する防災拠点施設には、自家発電設備・県防災ネットワークシステムと防災行政無線操作室の集約

による適切な情報の収集発信機能、災害対応する会議室を配置します。施設の整備計画については、実施設計が完了しましたら町広報等でお示しします。



町道堀内川端線の大型ポンプによる排水作業

質問 今年の台風19号の大雨などにより、堀内橋付近の最上川の水位が上昇した場合は、最上川からの逆流防止のため堀内橋付近の水門を閉鎖することになります。これにより内水位は上昇し、町道の冠水、近隣住宅の浸水

町長 昭和三十年代に特殊堤防が建設されてからは大きな被害がありませんが、水門を閉鎖するため、消防団による内水の排水作業が必要となつています。恒久的な排水ポンプ設備の設置は、新庄河川事務所に要望したところ、

が予想されます。消防団はその都度、堀内出張所に保管している大型排水ポンプの据え付け作業を行い排水していますが、この作業は2時間程度の時間を要します。対応策として、恒久的な排水ポンプ設備を設置し、近隣住民が安心して暮らせるよう、国交省・県と早急な検討が必要と思いますが、町の考えを伺います。

質問 災害時の各避難所の備蓄品については、各自主防災組織で温度差があり、備蓄品が不備な避難所があると思われ、このため、避難所ごとに非常備蓄品一覧と、備蓄

物理的・財政的に難しいとの回答でした。対応策として、国交省が所有する排水ポンプ車の出動要請と、町の電源車の活用が可能となっております。引き続き、内水の排水作業の現状や問題点を国に訴え、地域住民が安心して暮らせるような環境整備に努めていきます。

町長 福祉避難所については、平成30年8月豪雨災害時の教訓を踏まえ、災害発生時に要配慮者が安心して避難し生活がで

きる施設を整備するもので、令和3年度の完成を予定しています。なお、災害が発生しない平時は、防災教育の場として、有効に利用していきます。



災害時備蓄品保管場所の一例



荒澤 広光 議員

最上川増水時の排水対応、見直しが必要では

国交省の排水ポンプ自動車出動要請可能

品有無の確認が必要と考えます。現在の広域避難所についても、乳幼児、お年寄り、障がいを持つ方が数日間生活できるかが心配です。今年度より、特に配慮が必要な方々が確実に避難できる福祉避難所建設に向けて用地造成などを進めています。施設の建設及び利活用の計画について伺います。

物理的・財政的に難しいとの回答でした。対応策として、国交省が所有する排水ポンプ車の出動要請と、町の電源車の活用が可能となっております。引き続き、内水の排水作業の現状や問題点を国に訴え、地域住民が安心して暮らせるような環境整備に努めていきます。



叶内 昌樹 議員

除雪対応策について

除雪サービス低下にならぬよう実施



路線形状の変更による消雪パイプの現状（県道舟形大蔵線）

質問 昨年の除排雪費用が高額になった要因と、今後の対応策は。舟形町の除雪計画は、事業者の重機の種類で除雪方法が異なるわけですが、積雪寒冷地対策も含めて地域の方から悩みの相談はあるのか、また、路線形状の変更（県道舟形大蔵線）による箇所や老朽化した消雪パイプの今後の計画について、県とは協議しているのか伺います。

町長 昨年は12月から1月上旬の大雪で除雪回数が増えたこと、春先の融雪が進まず堆雪場所の排雪作業が増加したこと、生活道路除雪とドーザー工区（一の関若あゆ大平線）が増えたこと、さらに契約単価が上昇したことが高額となった要因と分析しています。今後は、家屋連たん地を除く集落間の堆雪場所や町道の路線開けは、融雪を待ち機械による雪割作業で対応とし、運搬排雪は行わない見直しをしたところであります。今年度も経費削減に努めつつ、除雪サービス低下につながらないよう工夫しながら実施していきます。除排雪については、町道のみならず、国道・県道・生活道・間口除雪まで、幅広く苦情や相談が地域整備課に寄せられます。道路管理を担当する国・県と連携して対応しています。

消雪パイプについては、県全体として、基本的に老朽化で使用出来なくなった場合は廃止して、機械除雪に切り替える方針とのことです。

スポーツ振興と管理施設について
柔軟な対応で施設の有効活用を

質問 近年では、働き方改革等でクラブ活動・部活動の運動時間の制限があり、種目にもよりますが一連の動作が困難では

町長 公共施設の利用時間は、平成23年の東日本大震災を契機とした節電の必要性和、施設管理上の費用対効果なども勘案して夜10時から9時に改正した経緯があり、その

後も利用者等のご理解のもと同様の運用を行なってきました。多目的型運動施設については、近隣市町村の拠点となり、地域活性化の起爆剤ともなりえますが、施設を建設・管理・運営・維持していくには財政的にもハードルが高く、現時点では難しいので、当面は現施設の更なる有効活用で町民が日常的に運動できるように検討し、スポーツ振興にもつなげていきたいと考えています。



スポーツにおける健康づくりと生活環境の連関図



齋藤 好彦 議員

地区防災計画の推進を

計画作成に向け支援したい

質問 年々激甚化する災害の一方で、従来、地域防災力向上のために活躍していた消防団、自主防災組織等は、少子高齢化等に伴い活動が縮小しています。今後の災害に備え、自助、共助の役割の

重要性が高まっており、地域コミュニティにおける防災活動を強化する「地区防災計画」の推進が必要と考えます。町長の考えを伺います。

を提供するなど、作成を働きかけていきたいと考えています。また、今後の自主防災組織の活動及び町内会防災活動が活発となるよう、支援していきたいと思えます。

町長 森林経営管理制度は、市町村が仲介役となり森林所有者と林業



みんな大丈夫だが～!! (福寿野町内会:避難訓練)

町長 近年の全国各地で発生している大規模災害において、市町村の行政機能がマヒし、地域住民による共助が重要な役割を果たしています。このため、地域コミュニティにおける共助による防災活動を実践する「地区防災計画」はたいへん有用なものと考えています。地区防災計画は、地区居住者による自発的活動に関する計画であり、今後町として町内会長会議を通じて、他地区で作成済みの地区防災計画の情報

森林経営管理制度の活用策は
実施体制の検討を進めていく

質問 森林所有者の高齢化などにより、適切な管理が行われず、伐採後も植林されない事態が発生しています。その対応策として管理を林業経営者に集積・集約化し、それが出来ない森林は市町村が管理することで、林業の産業化と適切な管理の両立を図る目的で「森林

経営者をつなぐ仕組みで、林業経営者に対し、町が対象森林とのマッチングを図っていきます。その後は、その林業経営者により管理が行われ、伐採後には売却益の一部が配分されることとなります。一方で、林業経営に適さない森林は市町村が自ら管理をしていくことにな

り、林業に関する専門的な知識が必要となつてきます。今年度から具体的に意向調査の準備に着手するとともに、職員については必要な知識等を習得するため、研修等を通じて研鑽を重ねながら、実施体制の検討を進めていきたいと思えます。



大きく育ってネ!! (森の感謝祭)

第12回議会報告会

10月10日～11日に議会報告会を開催しました。（議会日より令和元年10月号掲載）各会場でもいただいた質問や要望事項を議員全員で検討し、町長へ報告しました。主な質問と回答は次のとおりです。

議会に対する要望・意見

質問 議員定数について決まりはあるのか。

回答 以前は法令で定められていましたが、現在は町の条例で10人と定められています。（議会）

質問 本会議で議員提出案件が3件あるが、どのような内容か。

回答 国、県に対しての要望・意見書及び常任委員会の名称変更、議会傍聴規則一部改正の3件です。（議会）

質問 議会報を読んでいるが、議員の質問内容は執行部へのただの質問ではなく、議員からの提案型の質問内容に変えてほしい。

回答 この件については、今後、議会活性化特別委員会で検討していきます。（議会）

質問 陳情は町長に対して提出しているが、議員の方々は陳情書等の内容は把握しているのか。

回答 各連合町内での陳情書については、全体にまとめられた資料で把握しています。不明な点は、現場確認などを行なっています。（議会）



西堀公民館



長尾公民館

質問 陳情について報告を受けるのはいいが、優先順位があることについて、議員がいない地域が先延ばしになっていないか心配。

回答 決してそのようなことはありません。陳情された案件は議会として検討し、その結果を町に報告しています。（議会）

質問 総務文教常任委員会の議員は、教育に関して学校生活での問題等にどのように関わっているのか。

回答 常任委員会で所管事務調査として、その都度テーマを決めて、学校訪問や授業参観を実施し、教員の皆さんと意見交換を行なっています。（議会）

質問 議会活性化特別委員会とはどのように運営されているものなのか。また、その内容は。

回答 当町議会で平成27年3月に議会基本条例をつくりましたが、時代に沿った基本条例の見直しなどを行い、調査検討し、その内容を議長に報告し、町執行部と連携強化していくことを目的とした委員会です。開かれた議会を目指し、町民の福祉増進に寄与することを目指しています。（議会）



今後に期待される教育環境エリア

次総合発展計画において、「老朽化が進む中学校校舎の移転・改築に係る検討を進め、方針を示す」としており、期的には令和2年度中に示したいと考えています。中学校敷地の賃貸契約の相手は三菱マテリアル株で、賃貸借地面積はテニスコートを含め35557㎡で、昭和54年12月

質問 最上小国川清流末来振興機構では、最上小国川流域における10年後の目指すべき地域の将来像を設定しています。計画期間が平成27年から10年間とし、令和元年は計画の策定から5年目を迎え、アユパークと西ノ前遺跡公園（縄文）をつなぐルートを整備【県・町】とありますが、内容と現在の状況について伺います。

町長 かわまちづくり制度は、河川と河川につながるまちを活性化するため、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指すことを目的に、国土交通省が創設した制度です。現在の計画では、東北中央道より上流左岸700m区間、及び一ノ関橋上流左岸700m区

間に、河川管理用通路を県が整備し、町では町道へのアクセス道路を整備することとしています。今年度は、県が担当する整備計画箇所の調査等を行なっていますが、今後、県や関係機関と協議を進め、具体的な実施計画を詰めていくこととしています。

質問 平成28年の第7回議会報告会で、中学校の校舎が老朽化しているが、建て替え等今後の方針と、借地についての質問が出されました。平成30年3月定例会で、中学校を大規模改修するか移転するか、その結論をいつ示すのか、また、借地に関し契約内容と平成30年度末まで支

町長 平成28年5月の総合教育会議において、「保・小・中一貫教育の実現に向けて、中学校の移転による近接型一貫教育」ということで、近接型の移転を検討していくことを確認しています。現在策定中の舟形町第7

最上小国川かわまちづくりプラン現状は
具体的な実施計画を詰めていく
から平成30年度分まで、約1億3千万円が支払われています。



---> 整備が待たれるアクセス道路と河川管理用道路



伊藤 欽一 議員

舟形中学校移転の結論は 令和2年度中に方針を示す

貴重な意見ありがとうございます。

議会報モニターより



舟形町議会では、議会だよりが町民の皆様との結びつきを強めることができるよう、町内在住の5名の方に議会報モニターを委嘱しています。

今回は議会だより180号（10月25日発行）に寄せられた意見や感想を掲載し、十分参考にし、今後の編集に役立てていきます。

1、表紙、見出しについて

- 大きな芋が印象的で、右下の笑顔も素晴らしいと思う。
- 秋のいも掘りの写真、良いと思う。特に「焼きいもは、甘さまてん★笑顔まんてん」のコメントと写真は、とてもほほえましく思う。
- 活気ある保育園児、笑顔がすてき。
- 元気な子供たちと収穫の秋、実りの秋が感じられた。

2、写真の扱い方

- 文章の補足としての的確な写真でわかりやすかった。
定住移住住宅の建設現場の写真では、写真の中の説明が特にわかりやすかった。
- モニターさんからのコメントを考慮して作成されていると感じられ、議会報作成の方々が一生懸命に作成されていると思った。
- 文面に沿った写真でわかりやすい。
- 適写真適所だった。

3、紙面について

- 質疑応答のページの質問している議員さんの名前を記載してほしい。
- 表紙と最終紙面のカラー印刷は、あらためてとても良いなあと思う。
- 全体的に読みやすい。

町に対する要望・意見

質問 縄文の里として、町主催の行事の企画、準備、運営に西堀町内会も加えてもらいたい。

回答 遺跡地の町内会として、協働して出来ることを一緒に企画・準備・運営したいとのことをご提案を頂き、ありがとうございます。関連事業について、今後お声掛けさせていただいた際は、よろしくお願いします。
(教育課)

質問 空き家解体費用補助申請して、受理されない場合はあるのか。例えば財産がある人とか。

回答 非課税世帯という条件を廃止しているので、空き家の諸要件に該当すれば補助をしています。また、要望が多い場合も、必要な予算を確保するように努めています。
(住民税務課)

質問 町の観光パンフレットへの掲載は、歴史のある町の自然遺産について、今後舟形の文化・史跡・歴史も含めて検討していただきたい。

回答 今後の作成については、そういう意見もあることも踏まえて、しっかり検討していきます。
(まちづくり課)

質問 昨年の災害でどれだけ復旧したのか。また、その進捗状況と費用の決算の状況は。



新堀公民館



富田公民館

回答 進捗率については、災害箇所が多く全体で6割が完了している現状です。災害復旧には、総額15億円の復旧費用がかかります。国の補助の対象にならない小規模な農地災害については、農家に支障が出ないように町が単独で補助しています。舟形町は局地激甚災害の指定を受けたので、国庫補助事業については通常の補助率より高い補助率となり、町の負担が少なくて済みます。
(議会)

質問 福祉避難所計画と防災センター計画の内容は。4年前に計画段階で旧星川医院の裏を町が購入したようですが、8市町村どこにも無い防災センターが本当に単独で必要なのか。本来ならば広域ですべきではないか。

回答 福祉避難所及び防災センター（防災拠点施設）については、平成30年8月の豪雨災害時の課題や反省を踏まえ整備するもので、事業費のうち1/2は国の交付金を予定しています。福祉避難所については、町と協定を結んでいる福祉施設自体が被害を受け、配慮者が避難できなかったということも踏まえ、安心して避難できる施設が必要として建設する計画です。

防災センター（防災拠点施設）については、災害時、刻々と変化する状況に的確に即応していくため、災害対策本部を設置する会議室、防災行政無線室、災害用備蓄倉庫を有する施設を整備するものです。なお災害対策本部は、各市町村がそれぞれ設置し、災害対応にあたっています。

(住民税務課)



伊藤 義範 氏 (野) 氏
井上 万良 氏 (長者原) 氏
有路 洋子 氏 (舟形第4) 氏
東海林 幸雄 氏 (洲崎) 氏

選挙管理委員会 補充員

沼澤 仁 氏 (紫山) 氏
伊藤 良一 氏 (福寿野) 氏
澤内 修一 氏 (洲崎) 氏
叶内 安繁 氏 (長沢第3) 氏

選挙管理委員会 委員

任期満了により、新しく選挙管理委員会委員及び補充員を選出しました。任期は令和元年12月23日から令和5年12月22日までです。

選挙管理委員会委員等を選出

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意



齊藤 徹 氏(新任)
(長沢第2)

任期は
令和元年12月6日より
令和5年12月5日まで



大場 一善 氏(再任)
(長沢第1)

任期は
令和2年2月23日より
令和5年2月22日まで

監査委員の選任に同意

選任に同意

※発行済みの議会だより(令和元年10月号18ページ)について間違いがありました。訂正して深くおわび申し上げます。

情報公開審査会委員任期
令和元年10月1日より
×平成5年9月30日まで
↓
令和元年10月1日より
○令和5年9月30日までに訂正します。

新庄市民プラザにおいて、最上総合支庁長須藤勇司氏から「高速交通網の整備をこれからの地域の発展にどう活かすか」と題し、最上地域の核となる「道の駅」の必要性について、最上地域の人口推移、観光資源等を絡めた講演をいただきました。
また、山形県企画振興部総合交通政策課交通政策主査 竹田拓也氏からは、昨年に続き「奥羽・羽越新幹線の整備促進に向けて」と題した、奥羽・羽越新幹線の実現に向けた取り組みについての講演がありました。

数年後の最上地域の交通網について
最上地域市町村議会議員研修会
(令和元年10月23日)

山形国際交流プラザで山形県町村議会議長会主催の研修会が開催され、明治大学政治経済学部教授の牛山久仁彦氏から「議員のなり手不足と住民参画を考える」、政治評論家の有馬晴海氏から「どうなる日本の政治と経済」と題した講演をいただきました。
牛山氏からは、近年問題となっている議員のなり手不足における課題や議会改革と住民参画についてお話をいただきました。また、有馬氏からはユーモアを交えた日本の政治についてのお話を聞くことができ、どちらも有意義な研修でした。

日本の政治と住民参画を考える
県町村議会議員研修会
(令和元年10月16日)

4、議会報を通じて欲しい情報は

- ・議員さんの紹介など、議員活動に限らず、“人となり”がわかるような情報が欲しい。正直、知らない、話したことの無い議員さんが大半なので。
- ・新しく舟形町に開業されたコンビニやホームセンターの利用状況を知りたい。自分も良く利用しているので、また、閉店されるのではないかと不安になっている。町の今後の対応も知りたい。
- ・監査意見書に、防災拠点施設整備事業債が今後見込まれるとあるが、福祉避難所のほかにも新しい施設の建設予定があるのか。

5、議会・町に対する要望、意見等

- ・議会報告会の参加者の少なさが気になる。議会内で問題や議題にならないのか。
- ・自然災害が年々多くなっているようだが、町として災害予防や、いざ災害があった場合、どのような対策や準備がとられているのか、もっと知りたい。特に防災無線が各家庭に支給されてから時がたっている。今後の対策は。
- ・これから中学校の建て替えを控えていると思うので、不必要、不急な出費がないよう、町の財布の紐を緩めないでほしい。
- ・若者向け定住移住住宅以外に住む場所を作る予定はないのか。町営・子育てなど条件にあてはまらない人は自宅から出ていけない(だから町外へ出ていく)、他町村からも人は来ない。

6、その他

- ・モニターアンケート内容、質問が毎回同じだと、毎回同じようなことしか書けない。
- ・上長沢地区で小国川が増水した時の避難所は、本当に安全な場所なのだろうか。避難所までの経路は大丈夫なのか。孤立してしまうような気がしている。町の考えはどうか。
- ・他市町村では、住民課の窓口の延長対応が行われているが、舟形町でも電話予約対応で17時以降も対応できるようにしてほしい。
- ・町内外から親しまれている若あゆ温泉。入浴料が400円になったが、改修により、より一層愛される場になることを願っている。
- ・議会報モニターに意見や要望を記入しても、議員や町からそれに対する答えはないため、モニターの意味はあるのか。(アンケート記載と同じような質問等あるのかと思えば、ない)

モニターさんのご意見にお答えします

- Q. 防災無線が各家庭に設置されてから時がたっている。今後の対策は。
- A. 順次、各家庭に新しい防災無線(戸別受信機)の設置作業を行っており、今年度中に全世帯に設置を完了する予定です。
- Q. 住民課の窓口を電話予約で17時以降も対応できるようにしてほしい。
- A. 電話連絡していただければ、17時以降も対応できます。

数多くのご意見ありがとうございます。編集委員会で検討して改善できるところから行なっていきたいと考えています。引き続き、ご意見をお願いします。

働き方改革と英語教育の実情 総務文教常任委員会所管事務調査

1. 期 日 令和元年9月18日(水)
2. 調査内容(状況説明、現地視察)
 - (1) 舟形小学校
 - ① 英語教育の状況説明
 - ② A L T 授業視察
 - (2) 舟形中学校
 - ① 教師の多忙感解消に向けた取り組みの状況説明と意見の聞き取り
3. 所 感

小学校では来年度から5・6年生の英語の授業が義務教育化されるが、舟形町では英語の授業を先駆けて行なっていた。中学校教師の多忙感の解消へ向けた取り組みを行なっているものの、現場の教師がそれを実感できるまでには至っていない。今後、教育制度の改正や町や団体の協力が必要だと感じた。



楽しく学ぶA L T 授業を視察

経済活動の安定を 産業振興常任委員会所管事務調査

1. 期 日 令和元年11月18日(月)
2. 調査内容(状況説明、現地視察)
 - (1) 有限会社 星川タクシー
 - ① デマンド型乗合タクシーの利用状況について
 - ② ユニバーサルデザイン車両について
 - ③ 利用促進の周知について
 - (2) 有限会社 舟形マッシュルーム
 - (3) 強い農業・担い手づくり総合支援交付金の経過
3. 所 感

新しく導入したユニバーサルデザイン車両の評判は、乗り降りが楽に出来るので利用者からは好評であるとのことだった。また、デマンド型乗合タクシーの利用は、町民の理解をいまだに制度が少しずつ浸透しているように感じた。強い農業・担い手づくり事業の進捗状況は、順調に進んでおり、栽培舎の完成により市場からの需要にも応えていけるように感じた。



デマンド型乗合タクシーの利用状況について説明を受ける(有限会社 星川タクシー)

防災センターと小中一貫校を視察 総務文教・産業振興常任委員会 合同視察研修

1. 期 日 令和元年11月26日(火) 27日(水)
 2. 目的
 - ・防災対策及び廃校利用について
 - ・小中一貫教育について
 3. 調査内容(現地視察)
 - (1) 防災センター視察研修(宮城県石巻市)
 - (2) 防災体験型宿泊施設(KIBOTCHA) 視察研修(宮城県東松島市)
 - (3) 豊里小・中学校視察研修(宮城県登米市)
- ① 特色ある一貫校のねらい
② 成果と課題



震災時の被害状況の説明(石巻市防災センター)

請願・陳情

12月定例会で審査した請願・陳情は次のとおりです。

- 太折町内避難道路新設について

採 択

陳情者 太折町内会会長 庄司 正宏
- 次期食料・農業・農村基本計画に関する請願

採 択

陳情者 太折町内会会長 庄司 正宏
- 次期食料・農業・農村基本計画に関する請願

採 択

陳情者 太折町内会会長 庄司 正宏
- 小規模企業振興基本条例の制定を求める請願

採 択

陳情者 太折町内会会長 庄司 正宏

意見書

● 次期食料・農業・農村基本計画に関する意見書(右記の意見書を政府関係機関に提出しました)



太折町内陳情箇所の現地視察(産業振興常任委員会)

議会のつぎ

- ▼ 10月
 - 2日 議会活性化特別委員会
 - 三町村議会議員交流会
 - 第12回議会報告会(10日・11日)
 - 議会報編集委員会
 - 11日 県町村議会議員研修会
 - 16日 議会報編集委員会
 - 18日 最上地域市町村議会議員研修会
 - 23日
- ▼ 11月
 - 1日 舟形町自治功労表彰式
 - 3日 舟形町芸能フェスティバル
 - 11日 議会活性化特別委員会
 - 18日 産業振興常任委員会所管事務調査
 - 19日 議会運営委員会
 - 20日 高齢者フェスティバル
 - 21日 定住移住住宅上棟式
 - 22日 最上地域の医療を考えるつどい
 - 23日 最上ふるさと連合会総会
 - 24日 舟形町東京友の会創立50周年記念式典
 - 25日 議会運営委員会
 - 26日 総務文教・産業振興常任委員会研修(27日)
 - 29日 P T A 連絡協議会教育懇談会
- ▼ 12月
 - 3日 12月定例会(～6日)
 - 7日 ほほえみ保育園発表会
 - 12日 議会活性化特別委員会
 - 23日 議会報編集委員会
 - 29日 全員協議会

紙面の都合上、主な行事を抜粋し、掲載しています。その他、各地区行事等に参加しています。

表紙のつぎ

令和2年の新年は、例年になく暖冬で、雪が少なく過ぎやすい幕開けの正月になりましたが、夏の水不足が心配される声も聞かれます。

内山町内では、1月4日に伝統行事の「おさいど」が行われ、子供会と町内会の皆さん、消防団の協力で、天気にも恵まれたいへん素晴らしい「おさいど」になりました。

各家庭から古いお札やお守り、正月飾りなどを持ち寄り、前の年の厄を祓い、無病息災、五穀豊穡を願い燃やされました。

少子化が進み、伝統行事の伝承もままならない時代ですが、ぜひ将来に残していきたいものです。

山崎和男 記

議会だよりふながたの 表紙写真を募集します。

- 「議会だよりふながた」を、住民参加型のより身近な広報誌とするため、表紙の写真を募集します。
- 応募方法：写真データを議会事務局へ持参するか電子メールで送付してください。
 - 問合せ：舟形町議会事務局 32-0030 (直通) gikai@town.funagata.yamagata.jp

次回の定例会は 3月3日(火)～11日(水) までの予定です。
皆さまの傍聴をお待ちしております。

えがったなあ

シリーズ



(首里城を背景に)

今回は、長沢第2の加藤亮さんと結婚した、新庄市出身の梢(旧姓:佐藤)さんです。
皆さんよろしくお願いします。

♥どんなきっかけで彼(ご主人)と知り合いましたか?
職場で知り合いました。

♥嫁いできて、舟形町での生活はどうですか?
新庄では経験しなかった昔から続いている地域の行事や風習などにびっくりすることもありますが、楽しく過ごしています。

♥舟形町の良いところ・悪いところは?
良いところ 子育て支援に力を入れているところです。悪いところ カメモシがいっぱいいるところです。

♥舟形町に望むことはありますか?
若い人が増えるといいです。

お願い

「えがったなあ」に出てみませんか。舟形町に嫁いでこられたお嫁さん・お婿さんを募集します。

(連絡先)

舟形町役場議会事務局
☎32-0030 (直通)

声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお待ちしております。

私は以前、PTAや消防団活動等で、町行政・関係者の皆様には様々なことを教わり、たいへんお世話になりました。

学校給食のクオリティーの高さや、消防団の防災備品の購入や防災施設の管理体制等、他の市町村と比較しても恵まれていると感じます。これも、ひとえに町議会や行政の方のご尽力と深く感謝を表します。

しかしながら、私の住む堀内地区は、人口減少や若者不足等、とても大きな課題も抱えています。一人でも多くの人が、定住・移住していただける住み良い環境づくりを望みます。

町の財政にも限りはあると思いますが、子供たちや住民が安心して集い遊べる、旧堀内小学校跡地を活用しての緑地公園の整備や、中学・高校生が部活動等で気軽に利用できるコミュニティバスの運行が、実現できれば良いと願っています。



森 正志 さん
(洲崎)

(議会より)
地域の課題、ご提案ありがとうございます。参考にさせていただきます。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年は例年になく、降雪の少ない年明けになりました。今年こそは災害のない、穏やかな年になってほしいものです。

7月24日からは東京五輪・パラリンピックが開催されます。日本全体が盛り上がり、地方にも好景気感が波及すればと思っています。

2月には町長選挙があります。これからの4年間、町のかじ取り役を選ぶ大事な選挙になります。大切な一票、必ず投票に行きましょう。

終わりに、今年が皆様にとりまして素晴らしい年になることをご祈念申し上げます。

(石山 和春 記)

発行責任者

議長 八 欽 太
議会広報常任委員会
委員長 伊藤 欽 一
副委員長 小国 浩 文
委員 石山 和 春
委員 荒澤 広 光
委員 叶 内 昌 樹